

鉦工業指数参考図表集
(2023年3月速報)

2023年4月28日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2023年3月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	95.7	93.1	104.1	128.8
前月比	0.8%	0.4%	0.6%	2.1%
指数水準	2022.12 95.8以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2022.11 93.4以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2020.4 105.1以来 I 2020.1 105.9 II 2020.3, 4 105.1 III 2019.6, 2020.2 104.4	2020.6 138.3以来 I 2020.5 150.5 II 2020.6 138.3 III 2020.4 137.6
前月比の動き	2か月連続+ (2023.2~当月)	2か月連続+ (2023.2~当月)	2か月連続+ (2023.2~当月)	2か月ぶり+ (2023.1以来)
前月比幅	2023.2 4.6%以来 I 2022.6 9.2% II 2021.6 7.2% III 2020.7 6.9%	2023.2 3.9%以来 I 2020.6 6.9% II 2021.11 5.4% III 2020.7 5.3%	2023.2 1.3%以来 I 2017.10, 2022.9 2.9% II 2021.9 2.7% III 2018.3 2.6%	2023.1 2.8%以来 I 2020.4 13.3% II 2020.5 9.4% III 2014.4 7.4%
前年同月比(原指数)	-0.7%(106.3)	-0.2%(105.8)	3.2%(100.8)	7.9%(112.2)
前年同月比の動き	5か月連続- (2022.11~当月)	2か月ぶり- (2023.1以来)	19か月連続+ (2021.9~当月)	19か月連続+ (2021.9~当月)
前年同月比幅	2023.1 -3.1%以来 ①2020.5 -27.0% ②2020.6 -18.4% ③2020.7 -15.9%	2023.1 -3.0%以来 ①2020.5 -27.5% ②2020.4 -17.0% ③2020.7 -16.8%	2022.12 3.3%以来 I 2022.2 7.1% II 2014.11 7.0% III 2022.3 6.8%	2023.1 10.0%以来 I 2020.5 43.5% II 2020.4 29.7% III 2020.6 23.9%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2023年3月の鉱工業生産の基調判断

「生産は緩やかな持ち直しの動き」

基調判断の推移

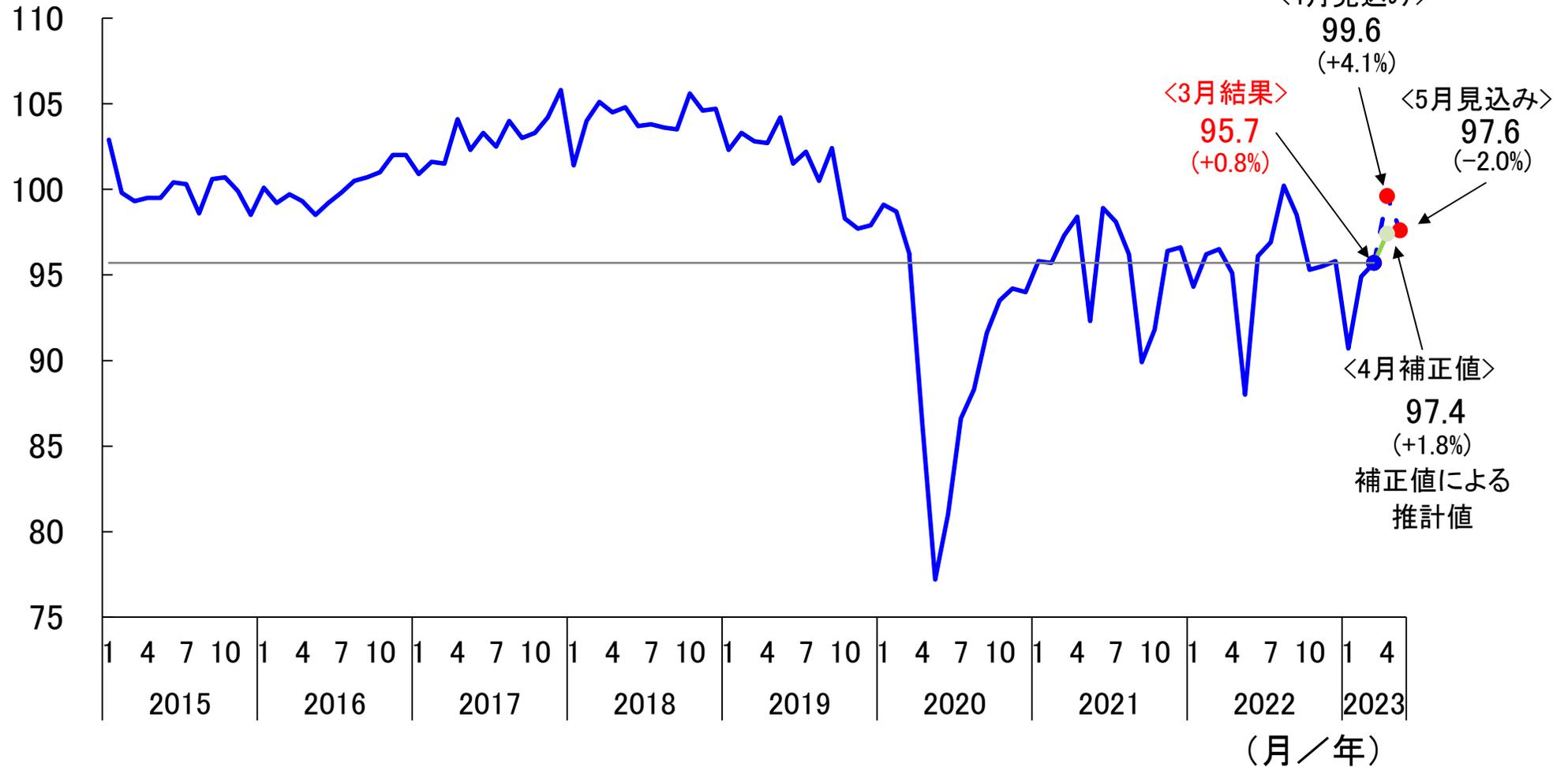
2020年1月～2月	(↑)	「生産は一進一退ながら弱含み」
2020年3月	(↓)	「生産は低下している」
2020年4月～5月	(↓)	「生産は急速に低下している」
2020年6月	(↑)	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	(↑)	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	(↑)	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	(↓)	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	(↑)	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	(↓)	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	(↓)	「生産は弱含み」
2023年3月～	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2023年3月の鋳工業生産指数は、95.7(前月比0.8%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

2023年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2023年3月の鉱工業生産指数は、95.7（前月比0.8%）と2か月連続の上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	5.2%	0.78%pt
	品目	普通乗用車	6.5%	0.38%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	12.2%	0.23%pt
	2位の業種	生産用機械工業	5.8%	0.49%pt
	品目	半導体製造装置	21.6%	0.53%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	162.1%	0.18%pt
3位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	4.3%	0.17%pt	
品目	柔軟仕上げ剤	43.5%	0.06%pt	
	石けん類	22.3%	0.05%pt	
【低下方向に寄与】 鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-10.7%	-0.65%pt
	品目	モス型半導体集積回路（メモリ）	-36.4%	-0.44%pt
		アクティブ型液晶パネル（大型）	-30.4%	-0.08%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	-8.2%	-0.64%pt
	品目	ボイラ部品	-70.4%	-0.16%pt
		コンベヤ	-30.0%	-0.08%pt
3位の業種	無機・有機化学工業	-2.2%	-0.09%pt	
品目	ポリプロピレン	-12.5%	-0.04%pt	
	フェノール	-30.1%	-0.03%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2023年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	半導体製造装置	21.6%	0.53%pt
	2位	普通乗用車	6.5%	0.38%pt
	3位	駆動伝導・操縦装置部品	12.2%	0.23%pt
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	モス型半導体集積回路(メモリ)	-36.4%	-0.44%pt
	2位	ボイラ部品	-70.4%	-0.16%pt
	3位	機械プレス	-55.7%	-0.08%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	5.0%	0.42%pt
		普通乗用車	6.5%	0.32%pt
		小型乗用車	4.7%	0.04%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.5%	0.09%pt
		柔軟仕上げ剤	43.5%	0.06%pt
		石けん類	22.3%	0.05%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.1%	-0.01%pt
		橋りょう	-17.1%	-0.02%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-2.3%	-0.35%pt
		機械プレス	-55.7%	-0.08%pt
		コンベヤ	-30.0%	-0.08%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.8%	-0.36%pt
		モス型半導体集積回路(メモリ)	-36.4%	-0.44%pt
		ボイラ部品	-70.4%	-0.16%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

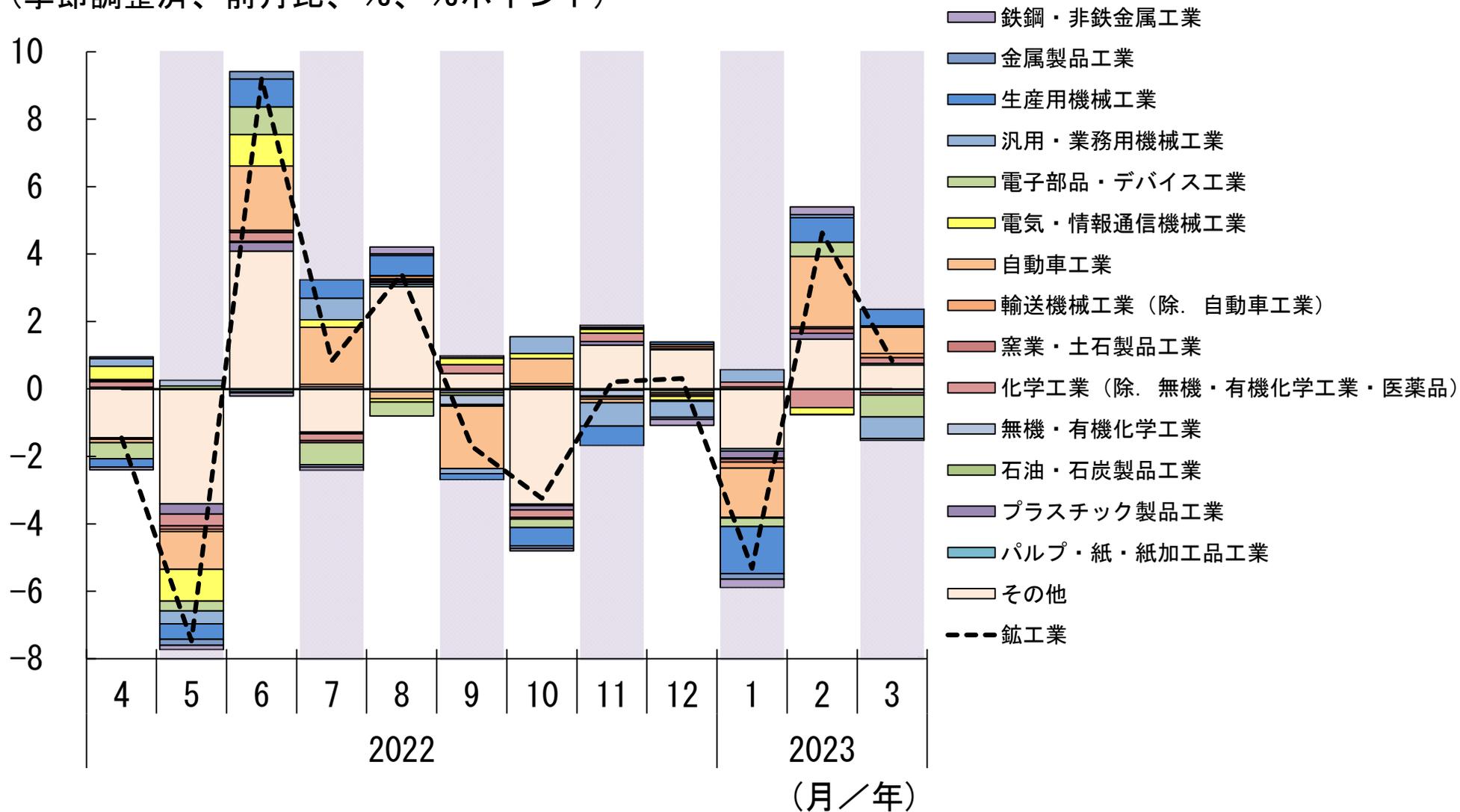
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2023年3月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、自動車工業などが上昇したため、前月比0.8%の上昇。

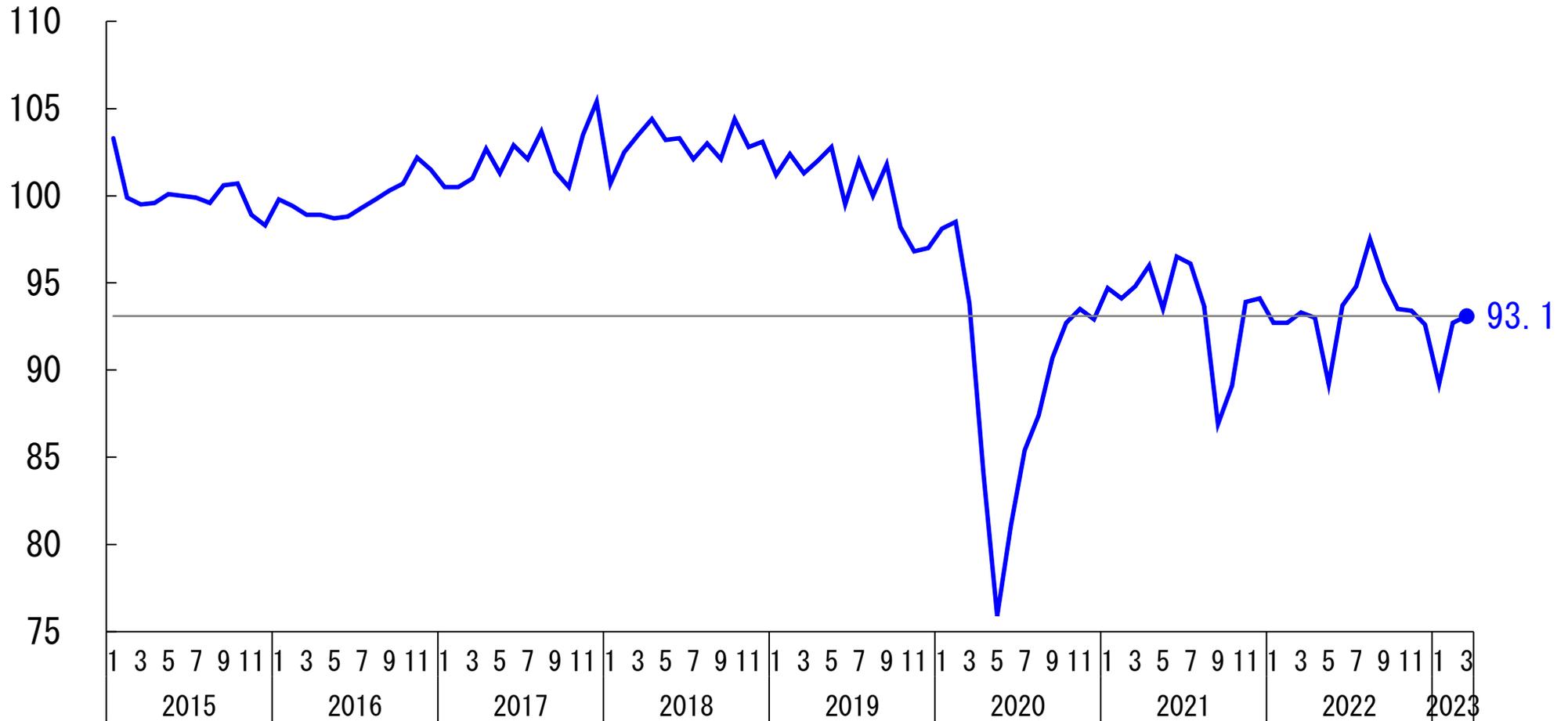
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

・ 2023年3月の鋳工業出荷指数は、93.1 (前月比0.4%) と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(月／年)

2023年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2023年3月の鉱工業出荷指数は、93.1（前月比0.4%）と2か月連続の上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業出荷を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	5.0%	0.81%pt
	品目	普通乗用車	7.4%	0.49%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	13.4%	0.24%pt
	2位の業種	生産用機械工業	5.7%	0.43%pt
	品目	半導体製造装置	11.4%	0.24%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	140.7%	0.16%pt
3位の業種	電気・情報通信機械工業	1.0%	0.08%pt	
品目	基地局通信装置	45.4%	0.15%pt	
	カーナビゲーションシステム	17.7%	0.04%pt	
【低下方向に寄与】 鉱工業出荷を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-7.6%	-0.39%pt
	品目	モス型半導体集積回路（メモリ）	-18.4%	-0.13%pt
		アクティブ型液晶パネル（大型）	-19.5%	-0.06%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	-4.1%	-0.26%pt
	品目	ボイラ部品	-70.3%	-0.18%pt
		コンベヤ	-34.5%	-0.08%pt
3位の業種	石油・石炭製品工業	-1.0%	-0.06%pt	
品目	ガソリン	-2.2%	-0.06%pt	
	重油	-4.4%	-0.03%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2023年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	5.6%	0.53%pt
		普通乗用車	7.4%	0.41%pt
		小型乗用車	4.4%	0.05%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.8%	0.04%pt
		電気照明器具（除. 自動車用）	11.5%	0.03%pt
		アルミニウム製建具	3.5%	0.02%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.1%	-0.06%pt
		ボイラ部品	-70.3%	-0.18%pt
		リチウムイオン蓄電池	-14.2%	-0.14%pt
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-0.7%	-0.09%pt
		機械プレス	-61.3%	-0.08%pt
		コンベヤ	-34.5%	-0.08%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.7%	-0.12%pt
		仕上用化粧品	-18.0%	-0.05%pt
		ガソリン	-2.2%	-0.02%pt

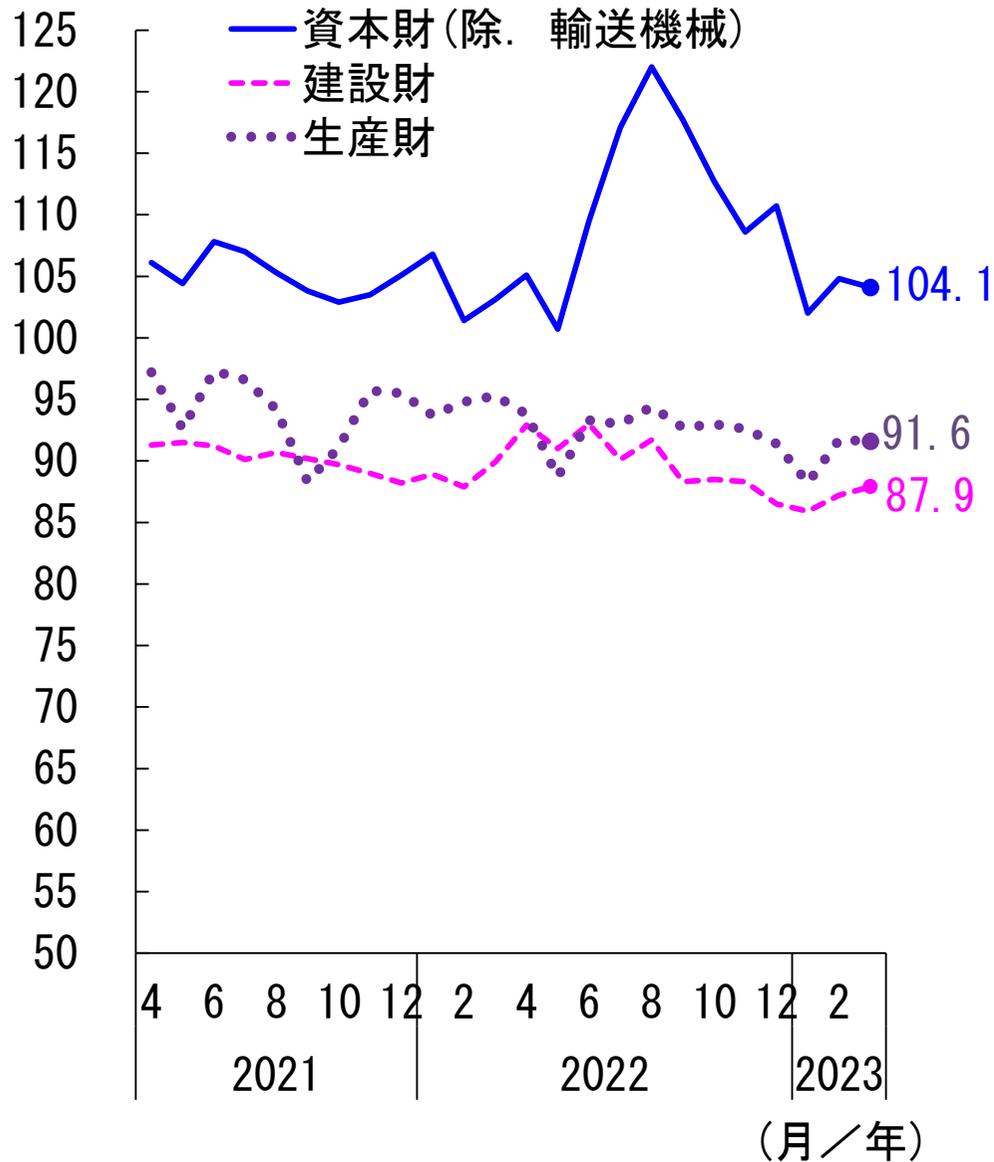
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

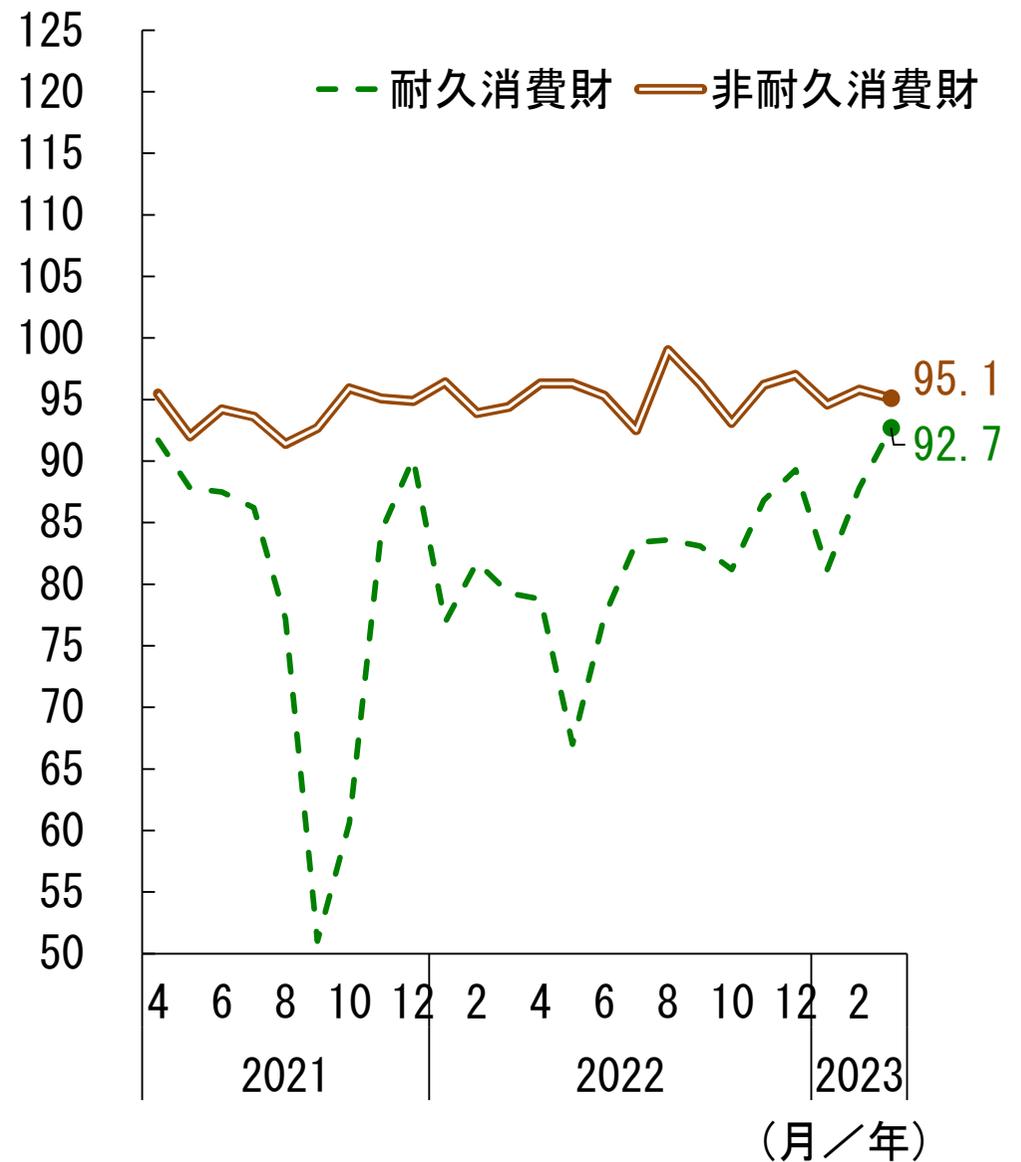
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



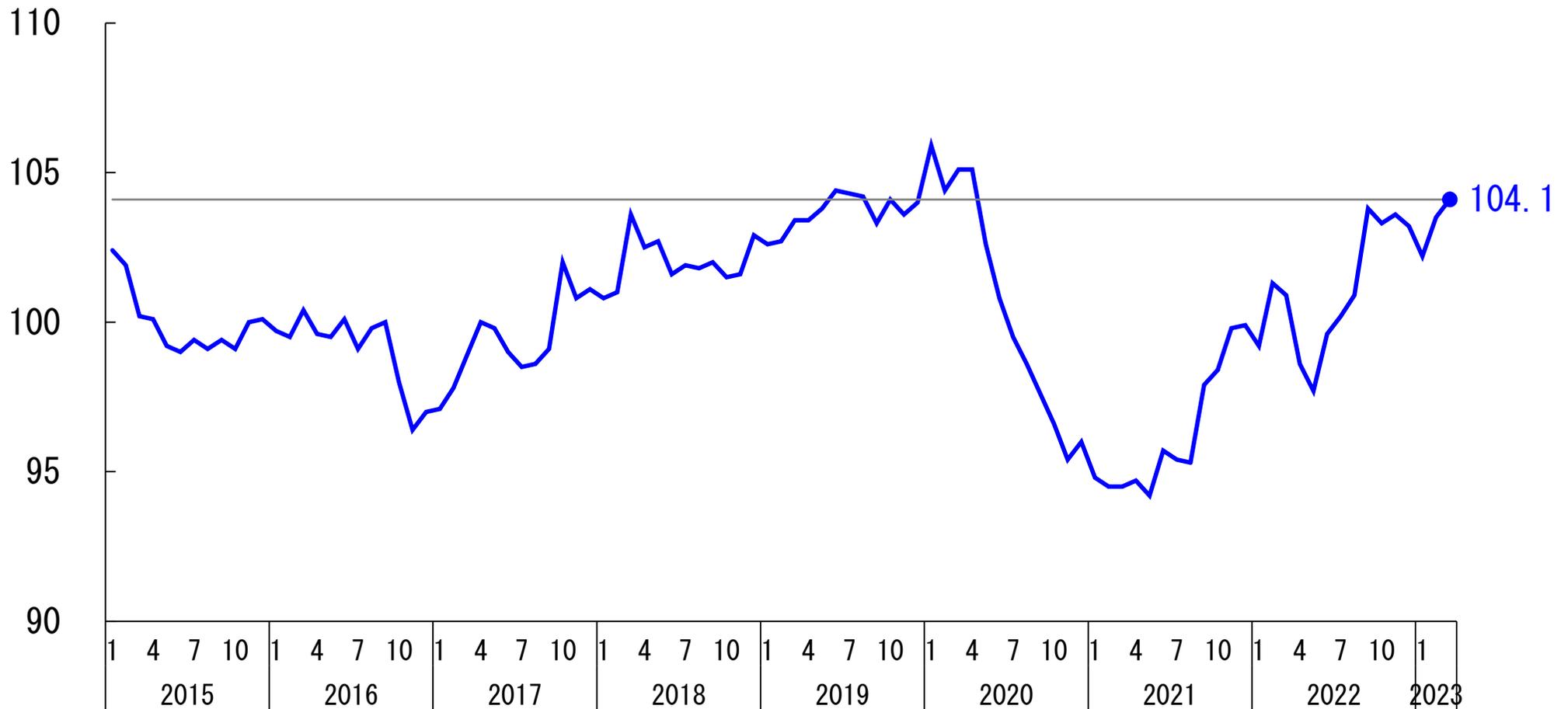
(2015年=100、季節調整済)



鉍工業在庫指数の動向

・ 2023年3月の鉍工業在庫指数は、104.1(前月比0.6%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(月／年)

2023年3月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2023年3月の鉱工業在庫指数は、104.1（前月比0.6%）と2か月連続の上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業在庫を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	7.1%	0.44%pt
	品目	普通乗用車	5.9%	0.22%pt
		普通トラック	10.7%	0.12%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	2.8%	0.19%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	23.1%	0.24%pt
		薄型テレビ	38.1%	0.07%pt
3位の業種	生産用機械工業	3.3%	0.15%pt	
品目	建設用クレーン	17.7%	0.09%pt	
	旋盤	7.1%	0.05%pt	
【低下方向に寄与】 鉱工業在庫を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	-1.8%	-0.09%pt
	品目	ジェット燃料油	-31.8%	-0.20%pt
		軽油	-17.1%	-0.11%pt
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	-2.0%	-0.09%pt
	品目	モス型半導体集積回路（メモリ）	-24.4%	-0.12%pt
		アクティブ型液晶パネル（大型）	-7.1%	-0.09%pt
3位の業種	無機・有機化学工業	-0.8%	-0.09%pt	
品目	ポリカーボネート	-22.8%	-0.07%pt	
	フェノール	-37.4%	-0.07%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

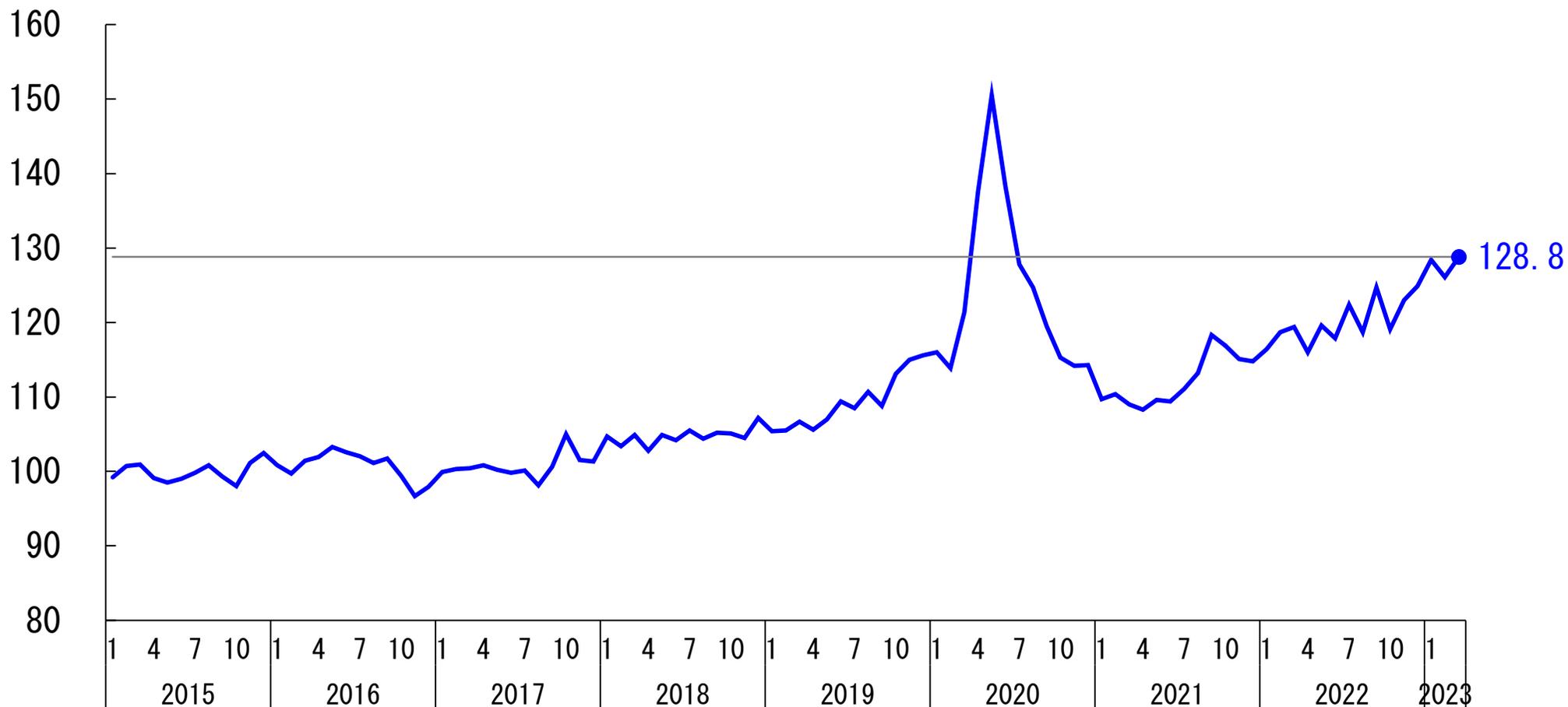
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鋳工業在庫率指数の動向

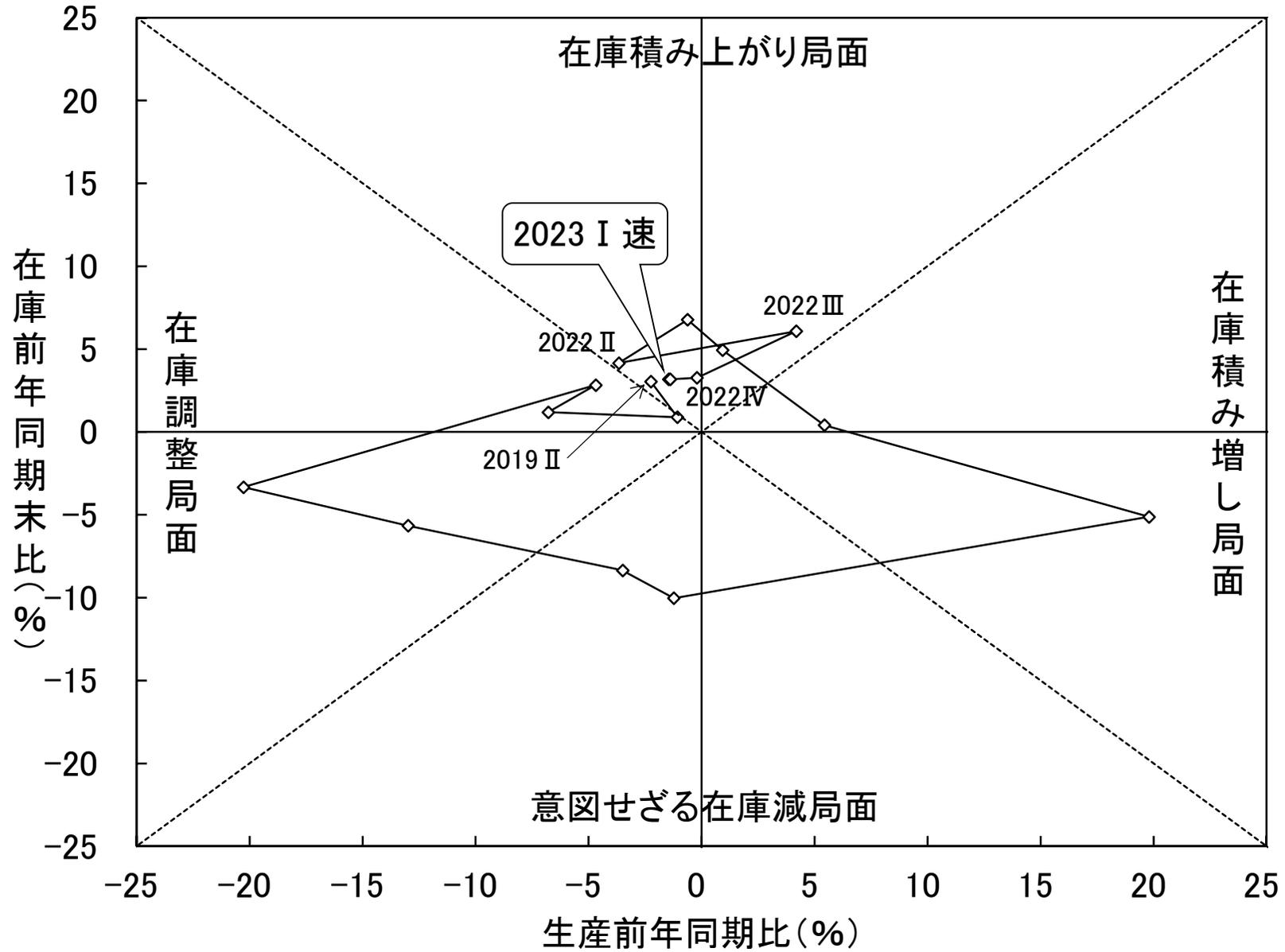
・ 2023年3月の鋳工業在庫率指数は、128.8(前月比2.1%)と2か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(月／年)

鋁工業の在庫循環図



製造工業生産予測指数 時系列

<製造工業>

2020年 = 100

年 月	季節調整済指数			前月比 (%)			実現率 (%)	予測修正率 (%)	
	前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み			
2022年	2月調査	106.0	112.0	112.5	▲ 2.1	5.7	0.4	▲ 7.5	▲ 3.1
	3月調査	106.5	110.5	120.3	0.5	3.8	8.9	▲ 4.9	▲ 1.8
	4月調査	107.4	115.6	115.9	0.8	7.6	0.3	▲ 2.8	▲ 3.9
	5月調査	105.8	111.2	117.6	▲ 1.5	5.1	5.8	▲ 8.5	▲ 4.1
	6月調査	101.2	110.4	113.8	▲ 4.3	9.1	3.1	▲ 9.0	▲ 6.1
	7月調査	107.4	112.6	118.8	6.1	4.8	5.5	▲ 2.7	▲ 1.1
	8月調査	107.3	113.7	113.6	▲ 0.1	6.0	▲ 0.1	▲ 4.7	▲ 4.3
	9月調査	109.1	111.7	117.8	1.7	2.4	5.5	▲ 4.0	▲ 1.7
	10月調査	109.3	112.7	111.5	0.2	3.1	▲ 1.1	▲ 2.1	▲ 4.3
	11月調査	107.3	109.2	112.4	▲ 1.8	1.8	2.9	▲ 4.8	▲ 2.1
	12月調査	106.7	110.4	109.7	▲ 0.6	3.5	▲ 0.6	▲ 2.3	▲ 1.8
	2023年	1月調査	105.5	106.1	111.9	▲ 1.1	0.6	5.5	▲ 4.4
2月調査		99.9	109.2	107.8	▲ 5.3	9.3	▲ 1.3	▲ 5.8	▲ 2.4
3月調査		106.3	107.0	113.2	6.4	0.7	5.8	▲ 2.7	▲ 0.7
4月調査		106.8	111.2	109.0	0.5	4.1	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 1.8

製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	3月調査 (前回)		4月調査 (今回)	4月調査 補正值
4月見込み	5.8 %	⇒	4.1 %	1.8 % (-0.5%~4.1%)
5月見込み	—		-2.0 %	—

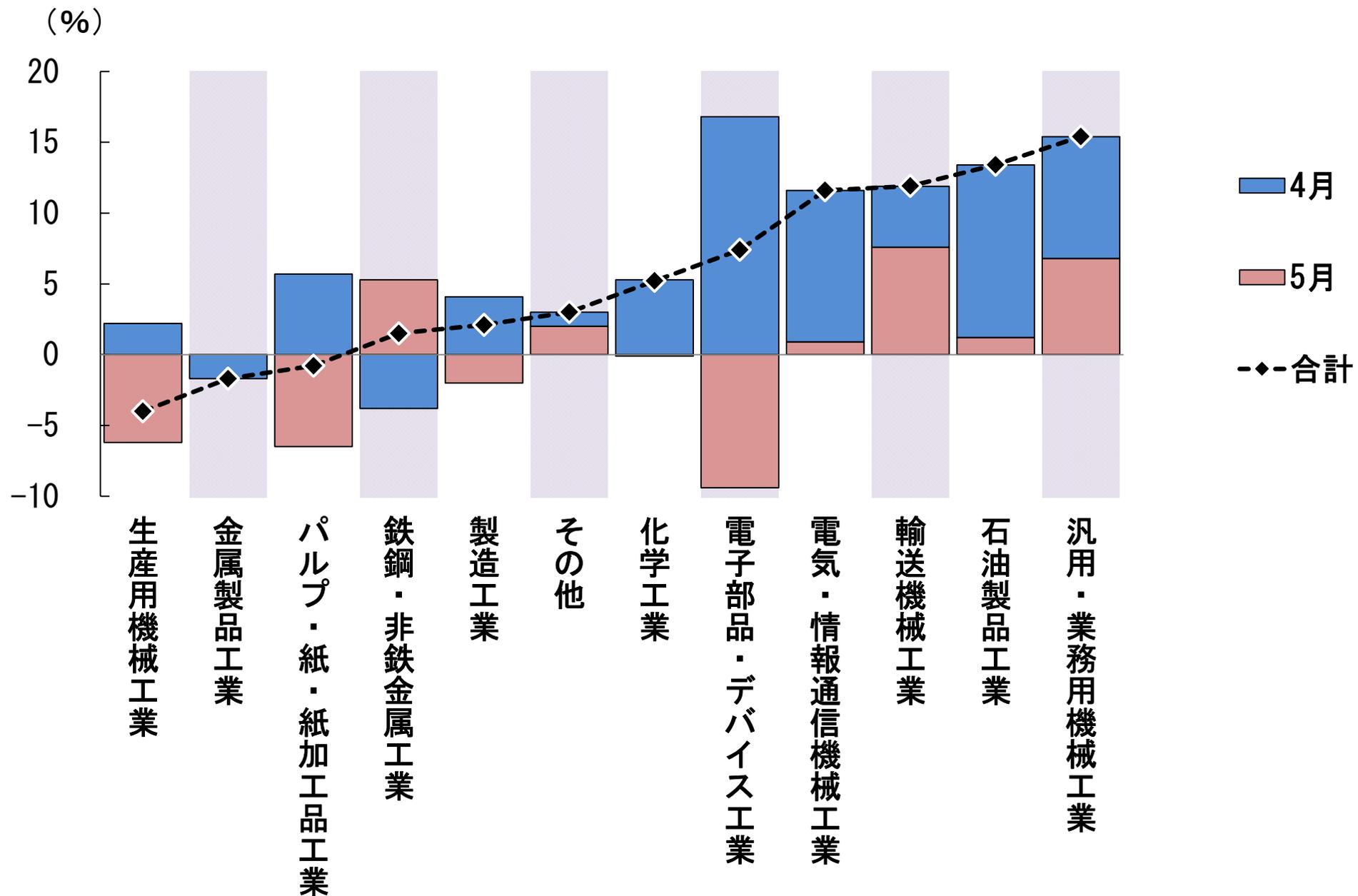
(注) 2023年3月調査（前回）については基準改定によりデータが更新されている

(参考) 前回調査の結果

	3月予測調査	3月補正值	実際の結果 鉱工業生産指数
3月前月比	0.7 %	-0.3 % (-2.6%~2.0%)	0.8 %

(注) 2023年3月調査（前回）については基準改定によりデータが更新されている

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



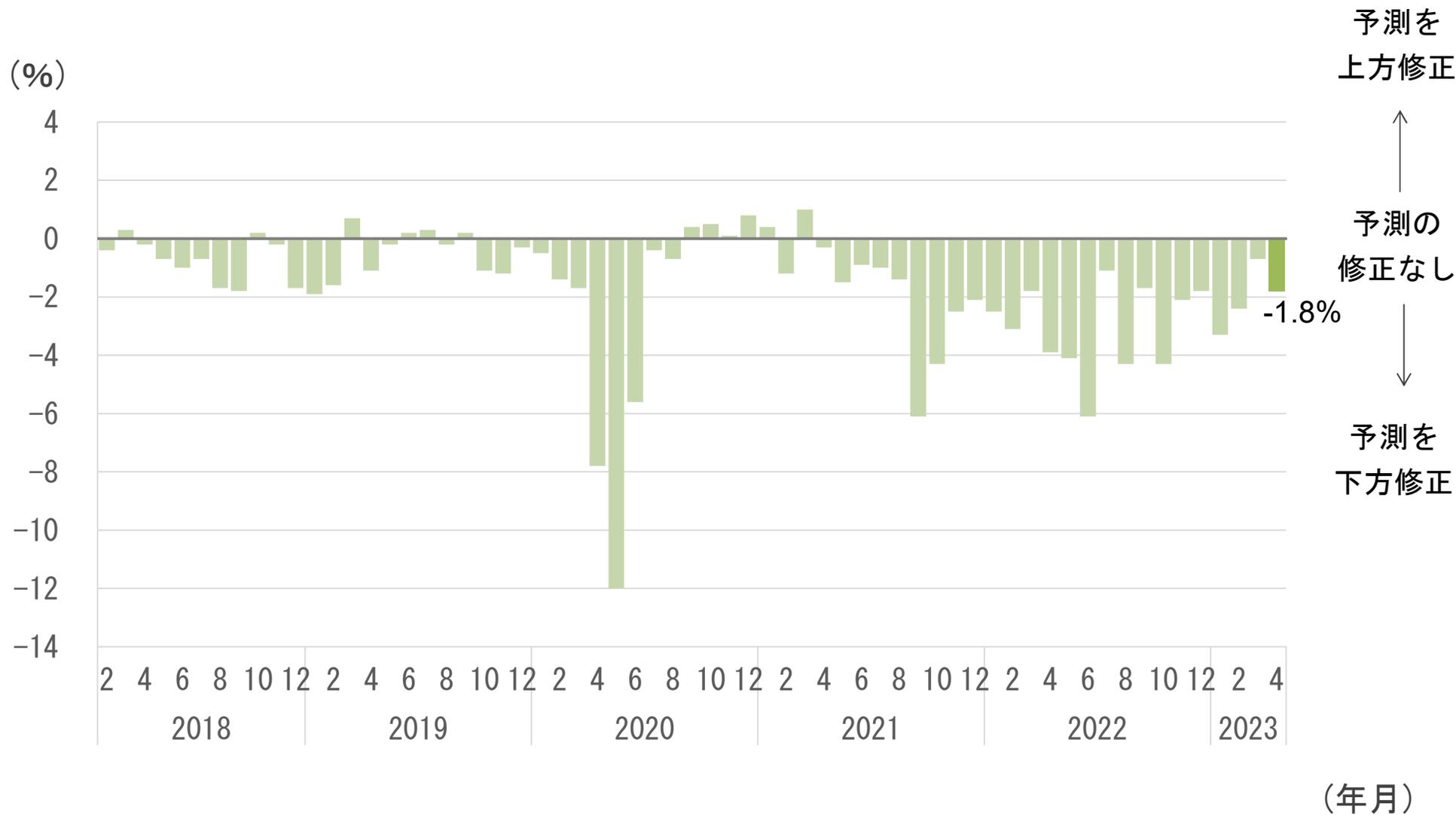
2023年4月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
電気・情報通信機械工業	10.7%	鉄鋼・非鉄金属工業	-3.8%	—	—
電子部品・デバイス工業	16.8%	金属製品工業	-1.7%		
輸送機械工業	4.3%				
汎用・業務用機械工業	8.6%				
化学工業	5.3%				
生産用機械工業	2.2%				
石油製品工業	12.2%				
パルプ・紙・紙加工品工業	5.7%				
その他	1.0%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

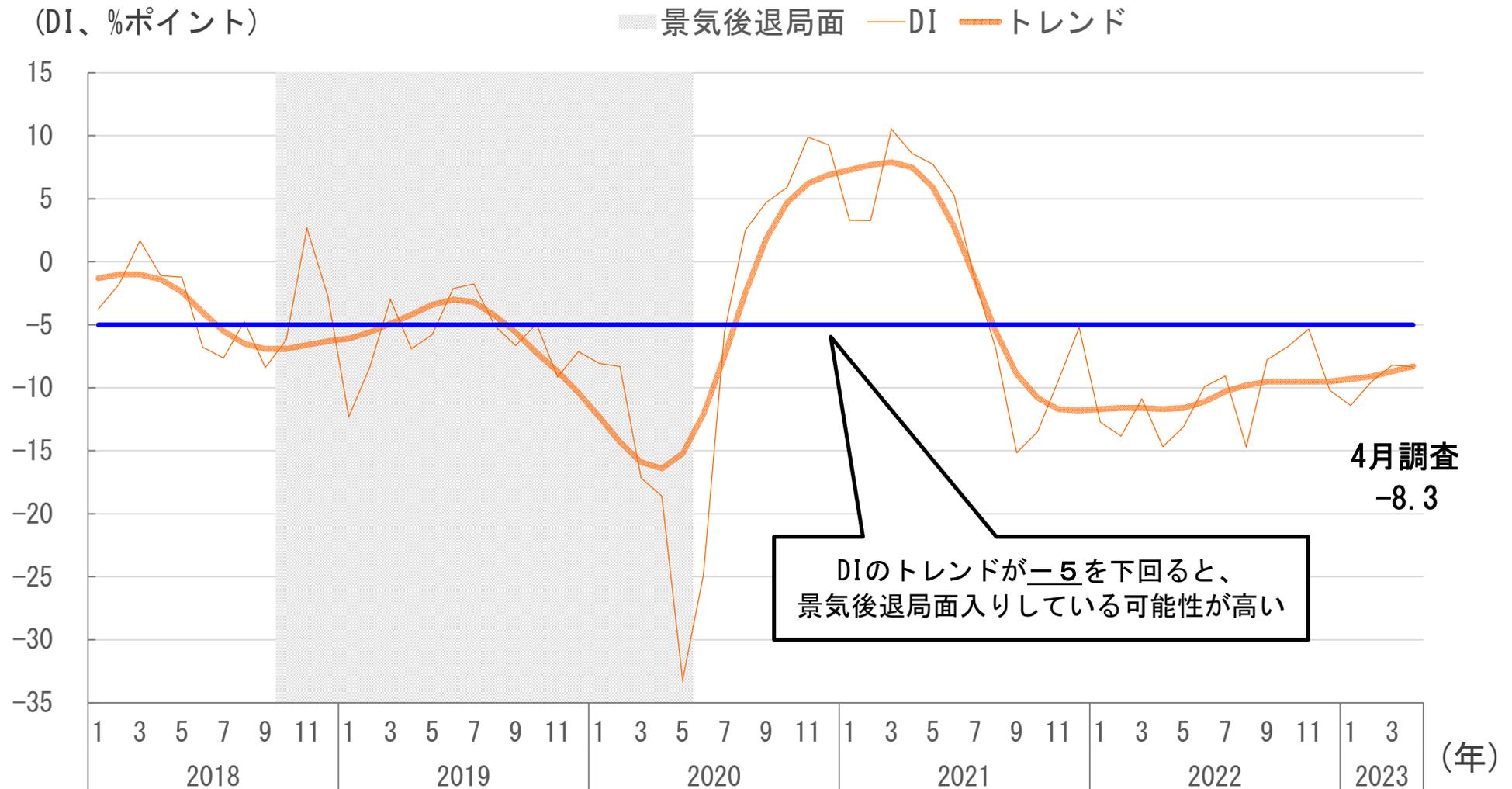
予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は-1.8%と低下。
- ・ 生産計画は25か月連続の下方修正となった。



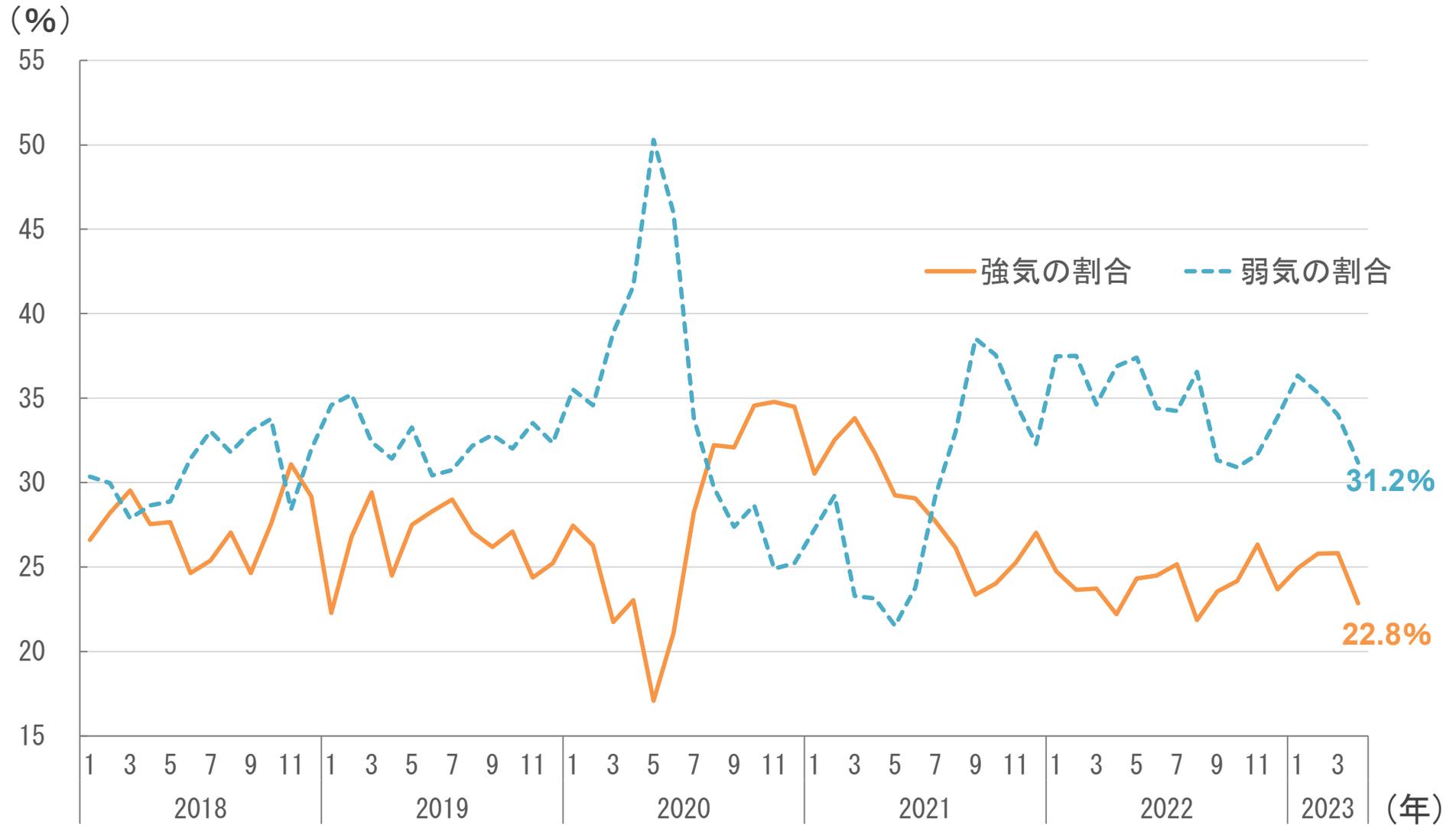
企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（DI））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（DI）化。
- ・DIのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・4月調査結果のDIは、-8.3（前月の-8.2から低下）、トレンドは-8.3と-5を下回る水準。



強気と弱気の比率の変化

・4月調査結果のDIの内訳をみると、強気が22.8%、弱気が31.2%となっている。3月と比べて強気の割合は減少し、弱気の割合は減少した。



2023年1～3月期(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

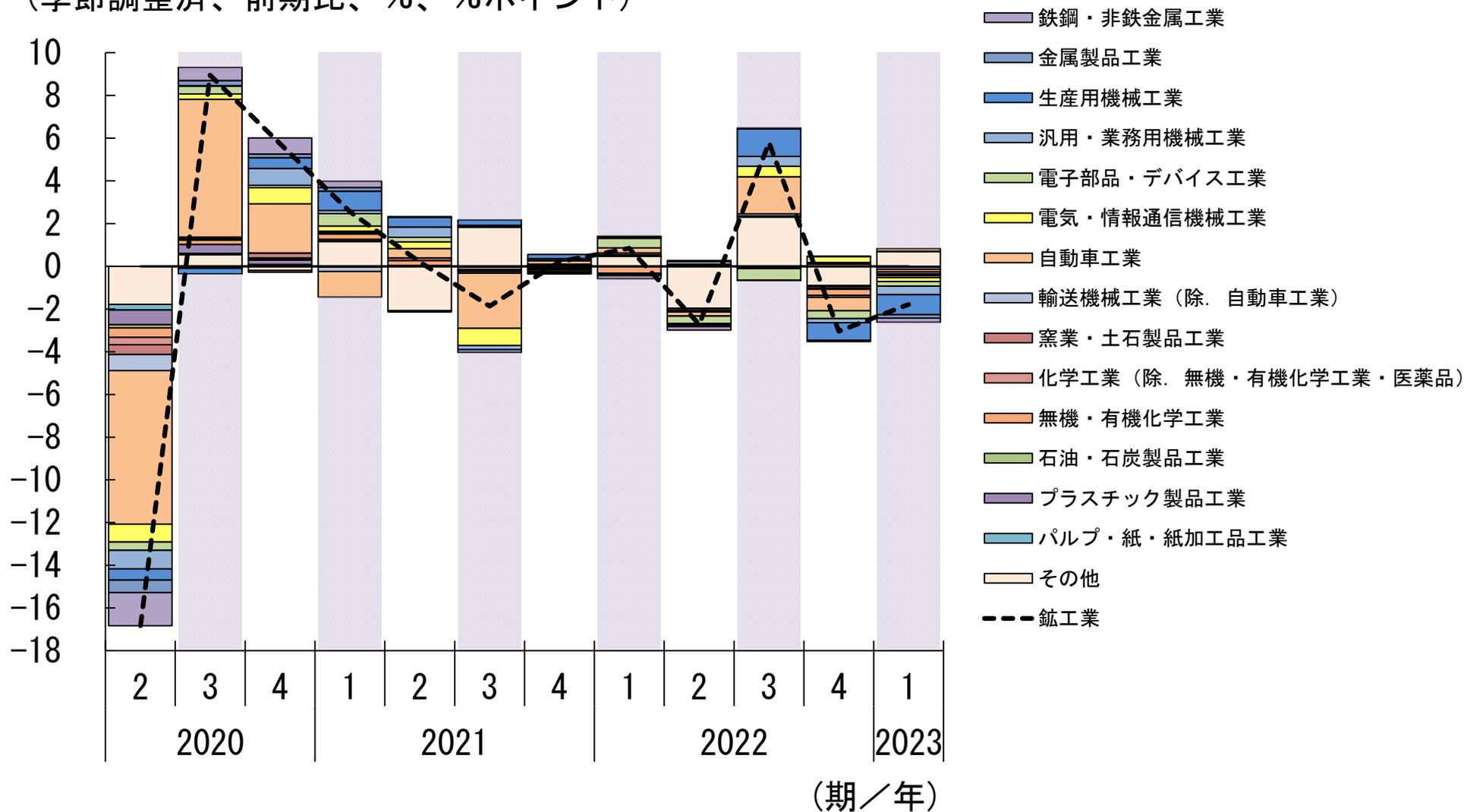
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	93.8	91.7	104.1	127.8
前期比	-1.8%	-1.6%	0.9%	4.5%
指数水準	2022Ⅱ 93.1以来 ①2020Ⅱ 81.5 ②2020Ⅲ 88.8 ③2022Ⅱ 93.1	2020Ⅲ 87.8以来 ①2020Ⅱ 80.4 ②2020Ⅲ 87.8 ③2023Ⅰ 91.7	2020Ⅰ 105.1以来 Ⅰ2020Ⅰ 105.1 Ⅱ2019Ⅱ 104.4 Ⅲ2023Ⅰ 104.1	2020Ⅱ 142.1以来 Ⅰ2020Ⅱ 142.1 Ⅱ2023Ⅰ 127.8 Ⅲ2020Ⅲ 124.0
前期比の動き	2期連続－ (2022Ⅳ～当期)	2期連続－ (2022Ⅳ～当期)	2期ぶり＋ (2022Ⅲ以来)	3期連続＋ (2022Ⅲ～当期)
前期比幅	2022Ⅳ -3.0%以来 ①2020Ⅱ -16.8% ②2019Ⅳ -3.6% ③2022Ⅳ -3.0%	2022Ⅳ -2.7%以来 ①2020Ⅱ -16.9% ②2014Ⅱ -4.1% ③2019Ⅳ -3.9%	2022Ⅲ 4.2%以来 Ⅰ2014Ⅱ 4.7% Ⅱ2022Ⅲ 4.2% Ⅲ2018Ⅰ 2.5%	2021Ⅲ 4.7%以来 Ⅰ2020Ⅱ 21.3% Ⅱ2014Ⅱ 6.8% Ⅲ2019Ⅳ 4.8%
前年同期比(原指数)	-1.5%(94.4)	-0.7%(93.1)	3.2%(100.8)	7.7%(127.4)
前年同期比の動き	2期連続－ (2022Ⅳ～当期)	3期ぶり－ (2022Ⅱ以来)	7期連続＋ (2021Ⅲ～当期)	6期連続＋ (2021Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2022Ⅱ -3.7%以来 ①2020Ⅱ -20.3% ②2020Ⅲ -13.0% ③2019Ⅳ -6.8%	2022Ⅱ -3.6%以来 ①2020Ⅱ -20.3% ②2020Ⅲ -13.5% ③2019Ⅳ -6.5%	2022Ⅳ 3.3%以来 Ⅰ2022Ⅰ 6.8% Ⅱ2022Ⅲ 6.1% Ⅲ2014Ⅳ 5.9%	2022Ⅱ 8.0%以来 Ⅰ2020Ⅱ 32.5% Ⅱ2020Ⅲ 13.4% Ⅲ2020Ⅰ 10.8%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・2023年1-3月期の生産指数は、自動車工業などが上昇したものの、生産用機械工業などが低下したため、前期比-1.8%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



2022年度(速報)各指数の状況
生産・出荷・在庫・在庫率指数

年度	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	95.3	93.2	100.8	122.4
前年度比	-0.2%	-0.1%	3.2%	7.1%
指数水準	2020 90.3以来 ①2020 90.3 ②2022 95.3 ③2021 95.5	2020 89.2以来 ①2020 89.2 ②2022 93.2 ③2021 93.3	2019 101.7以来 I 2019 101.7 II 2022 100.8 III 2018 98.9	2020 122.9以来 I 2020 122.9 II 2022 122.4 III 2021 114.3
前年度比の動き	2年度ぶり- (2020以来)	2年度ぶり- (2020以来)	2年度連続+ (2021~当年度)	2年度ぶり+ (2020以来)
前年度比幅	2020 -9.6%以来 ①2020 -9.6% ②2019 -3.8% ③2015 -0.7%	2020 -9.8%以来 ①2020 -9.8% ②2019 -3.6% ③2014 -1.7%	2021 6.8%以来 I 2021 6.8% II 2014 5.2% III 2017 5.1%	2020 9.2%以来 I 2020 9.2% II 2019, 2022 7.1% III 2014 6.3%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前年度比 業種別の影響度合い

・2022年度の生産指数は、自動車工業などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前年度比-0.2%と低下。

(前年度比、%、%ポイント)

